

ZUMMO INNOVACIONES MECÁNICAS S.A.U.は製品改良にともない、予告なく仕様・外観などを変更する場合がありますのでご了承ください。そのため、本取扱説明書には最新の変更箇所が記載されていない場合があります。

安全上のご注意

- お客様へ：本ジューサーをご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みください。
- 本製品は業務用ジューサーです。ホテル、レストラン、ジュースバー、スーパーマーケット、ホームセンター、オフィスなど商業施設で使用されるように設計されています。
- 屋外設置には適していません。直射日光が当たる場所や、風雨などの気象条件から保護されない場所、水の噴射で洗浄するような環境には設置しないでください。悪条件下での稼働で故障した場合、保証内であっても有償になります。
- 安全のため、すべての修理は専門の技術者が行うようにしてください。
- 必ず **Zummo** 純正部品、付属品、スペアパーツをご使用ください。安全装置が無効になっている状態ではマシンを操作しないでください。
- 誤操作や本取扱説明書の指示に従わなかったことによる障害は、いかなる責任を負いかねます。
- マシンを販売した会社へ技術サポートをご依頼ください。
- 動作中に非常に大きなトルクがかかるため、絶対に手や異物を搾汁部に入れないでください。
- マシンの動作中は、ホッパーに手を入れたり、果物に触ったりしないでください。
- カップと搾汁トレイの固定ナットを緩めたままでは稼働させないでください。マシンに重大な障害が起きる恐れがあります **[図07]**。
- けがの原因になるため、カッターの取り扱いには十分にご注意ください。お手入れする時にカッターの保護カバーをつけてください **[図06]**。
- お手入れやメンテナンスの前には、必ず電源を切ってください。
- 電源ケーブルが損傷した場合：
 - 専用工具を使わずに取り外せる場合は、ケーブル単体やケーブルアセンブリをメーカーまたはサービス会社から購入し、交換してください。
 - 専用工具を使わずに取り外せない場合は、安全のため、製造元、アフターサービス、または同様の資格を持つ専門家に修理を依頼してください。
- 本製品を、8歳未満のお子様など取り扱いに不慣れな方には使用させないでください。子供が使用する際に、必ず大人が付き添ってください。お手入れやメンテナンスは、子供にせないでください。

目次

1. 仕様.....	3
2. マシンリサイクル.....	3
3. 保証について	4
4. 付属品	4
5. サービスマニュアル	4
5.1. 初期設定	5
5.2. 操作モード設定.....	5
5.3. サイクルカウンター機能.....	6
5.4. セレクタボタンロック機能	6
5.5. スタンバイモード	7
5.6. 分解とお手入れ.....	7
5.7. 使用上のご注意.....	9
5.8. 安全装置と警告表示.....	9
6. メンテナンスマニュアル.....	11
6.1. 設置	11
6.2. メンテナンス	11
6.3. トラブルシューティング	12
6.4. パーツリスト	13
7. 写真.....	14
8. 分解図.....	16
9. 規約.....	19

1. 仕様

定格消費電力	MOD. Z14A-N, Z14B-N	275W
	MOD. Z14C-N	280W
一分あたりの最大搾量		11
投入部容量		9Kg / 16Kg
寸法	高さ (mm)	822
	幅 (mm)	478
	奥行 (mm)	460
使用環境	温度	+5°C ~ +50°C
	湿度	45% ~ 70%
果実直径 (mm)	小玉キット	45-62
	中玉キット	55-75
	大玉キット	70-90
騒音レベル「A」		70 dB 未満
質量 (kg.) (梱包なし)		58
電圧と周波数	MOD. Z14A-N	230V-50Hz
	MOD. Z14B-N	220V-60Hz
	MOD. Z14C-N	110V-60Hz

2. マシンリサイクル

使用済機器

EU 加盟国



この記号の付いた電気・電子機器は一般家庭ごみと一緒に廃棄してはなりません。廃棄する場合、家庭用ゴミとして処分しないでください。これらの製品には特別なリサイクル法があります。

廃棄場所やリサイクルについての詳細は、お住まいの自治体のリサイクルサービス、廃棄物処理業者、または製品販売店にお問い合わせください。

製品を適切に処分することによって、天然資源の保護（資源のリサイクル）に貢献できます。不適切な処分によって、環境や人体への悪影響を与えることが考えられます。

不適切な廃棄は、国内法に基づき、罰則の対象となる場合があります。

EU 加盟国以外

この製品を廃棄する場合は、該当する国の法律や使用済電気・電子機器のリサイクルに関するその他の関連法に従ってください。

梱包材

処分の際は、該当廃棄物の処分に関する地域の規則に従ってください。梱包材からそれぞれの廃棄物を分別し、最寄りの各種廃棄物収集センターへ出してください。

3. 保証について

製品保証に関しては、(株)SEB PROFESSIONAL にご連絡ください。

テクニカルサポート

技術的なご質問は、お近くの販売店にお問い合わせいただくか、(株) SEB PROFESSIONAL までご連絡ください。アフターサービスのサポート：



https://www.seb-p.jp/ec_site

保証期間中に Zummo 認定修理業者以外の業者に依頼した場合、保証対象外になります。

4. 付属品

絞る果物のサイズに応じて、カップとボールのセットがいくつか用意されており、その中から選択できます。（標準仕様またはオプション）。

- a 直径 45～62mm の場合：小玉カップとボール（ライトグレー）、小玉キット用セパレーター、小玉キット用インナーホッパー、漏斗 [図 22]。
- b 直径 55～75mm の場合：中玉カップとボール（オレンジ）、中玉キット用セパレーター [図 23]。
- c 直径 70～90mm の場合：大玉カップとボール（赤）、大玉キット用セパレーター [図 24]。

注意！部品のサイズは絶対に混在させないでください。

5. サービスマニュアル

- 組み付け、分解、お手入れを始める前に、スイッチで電源を切ってください。
- マシンをウォータージェットまたは高圧の水で洗淨しないでください。
- 搾汁エリアの部品（カップ、ボール、搾汁トレイ、フィルター、カッター、フロントカバー）は、「5.6 分解とお手入れ」の手順に従って、1 日 1 回以上お手入れを行ってください。
- 本ジュースャーで作られるジュースは、pH4.5 の柑橘類ジュースであり、健康に被害を与えることはありません。

5.1. 初期設定

- 果物のサイズに応じて、最適なキットをお選びください。これにより最高のパフォーマンスを発揮し、且つ故障や事故を未然に防止するためです。**4 付属品**をご参照ください。
- 搾汁システム、ホッパー、安全装置など、すべての部品を正しく取り付けてください。**5.6 分解とお手入れ**をご参照ください。
- ジュースサービス：
 - セルフサービストレイ**アダプタ**：2 つの操作モードがあります。**5.2 操作モード設定**を参照し、希望する操作モードに合わせて準備してください：
 - マニュアルモード（パネルのボタンにて操作）：絞りたい果物の数をパネルで設定します。**ON** ボタンを押すと、選択した数の果物が絞られます。
途中で停止させたい場合は、**STOP** ボタンを押してください。進行中のサイクルが完了し、マシンが完全に停止するまで、パネルには **Clock** と **STOP** が表示されます。その後、選択されたサイクル数がパネルに表示されます。
 - セルフサービスモード：PUSH ボタンを押すとマシンが動き出します。
PUSH ボタンから手を離すとマシンが停止します。進行中のサイクルが完了し、マシンが完全に停止するまで、パネルには **Clock** と **STOP** が表示されます。その後、パネルに果物のマークが出て、待機状態に戻ります。
 - サービスタンク：
 - 本体底面前部のネジ 2 本を外し、同じネジで同じ場所でタンクサポーターを取り付けます。
 - サービスタンクを使用すると、マニュアルモード（パネルのボタンにて操作）のみの操作になります。PUSH ボタンを押すと、タンクに貯められた分のジュースが出てきますが、セルフサービスモードのようにマシンは動作しません。

5.2. 操作モード設定

工場出荷時には「1001 自動設定モード」に設定されています。このモードでは、スイッチを切るたびにマニュアルモード（パネルのボタンにて操作）に戻ります。操作モードを変更するには、2 つのパターンがあります：

1. 手動変更：操作モードを変更するには、電源を切っておく必要があります。電源を切った状態で、STOP ボタンを押したまま電源を入れ、パネルに 4 桁の数字が表示されるまで STOP ボタンを押し続けてください。次に ON ボタンで左側の 2 桁を、SELECT ボタンで右側の 2 桁を設定できます。操作モードコード：
 - 1001 自動設定モード（初期モード）
 - 1002 マニュアルモード（パネルのボタンにて操作）
 - 4104 セルフサービスモード（PUSH ボタンを押すとすぐに絞り始める）
 - 4105 セルフサービスモード（PUSH ボタンを長押し 1 秒後に絞り始める）
 - 4106 セルフサービスモード（PUSH ボタンを長押し 2 秒後に絞り始める）

ご希望の操作モードを設定したら、STOP ボタンを押し、電源スイッチを切ってください。入力されたモードは、電源が切れても、**初期モード**に戻りません。

2. 自動変更：**1001** 自動設定モードでは、上記パターン 1 のようにコードを変更しなくても、操作モードを変更することができます。

- マニュアルモード（パネルのボタンにて操作）：PUSHボタンを押し込んだところ、奥側のレバーでロックをかけ、マシンは自動的に1002マニュアルモード（パネルのボタンにて操作）に切り替わります。

注意：ロックが外れてPUSHボタンが閉じると、「CLOSED TAP」というメッセージとともにトレイの安全スイッチがトリップされ、パネルに表示されます。



レバーでロックをかけ、PUSHボタンを開いたままの状態に戻すとエラーが消え、操作できるようになります。

- セルフサービスモード：PUSH ボタンを閉じた状態で電源スイッチを入れてください。1 秒間 PUSH ボタンを押し続けると、自動的に **4104** セルフサービスモードに切り替わります（その後、PUSH ボタンを押すと、絞り出します。）

注意：このモードでは、パネルのボタン(ON)が無効になっています。

5.3. サイクルカウンター機能

マシンが稼働した**一部サイクル*数**を知りたい場合は、待機状態（稼働していない）で、**STOP** ボタンを一回押してください。パネルには、マシンが前回にリセットされてからのサイクル合計数が表示されます。

マシンが稼働した**総サイクル*数**を知りたい場合は、待機状態（稼働していない）で、**STOP** ボタンを2回押してください。パネルには、数秒間、総サイクル数が表示されます（品質管理のため、すべてのマシンは 200～250 サイクルの状態でご出荷されます）。



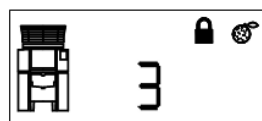
***サイクル** = ひとつの果物が両カップに挟まれてから皮がボールに残るまでの全過程のこと

5.4. セレクタボタンロック機能

本マシンには SELECT ボタンのロック機能が付いており、ワンサイクル当たり絞り個数の変更を無効にできます。

セレクタロックを設定するには、電源を切っておく必要があります。電源を切った状態で、STOP ボタンを押したまま電源を入れ、パネルに 4 桁の数字が表示されるまで STOP ボタンを押し続けてください。ON ボタンで左側の 2 桁を、SELECT ボタンで右側の 2 桁を設定できます。操作モードのコード：

- **7437** セレクタのロック／アンロック（ロックになった場合、パネルにキーのマークが表示されます）



ご希望の操作モードを設定したら、STOP ボタンを押し、電源スイッチを切ってください。設定されたモードは、電源が再び切れても、そのまま保持されます。

5.5. スタンバイモード

本機には、5 分間操作しないと自動的にスタンバイモードに入ることができます。スタンバイモードでは、パネルのライトが消え、電源スイッチ以外のすべてのボタンが無効になります。この状態を解除するには、パネルの 3 つのボタンのいずれかを押す必要があります。

スタンバイモードを設定するには、電源を切っておく必要があります。電源を切った状態で、STOP ボタンを押したまま電源を入れ、パネルに 4 桁の数字が表示されるまで STOP ボタンを押し続けてください。ON ボタンで左側の 2 桁を、SELECT ボタンで右側の 2 桁を設定できます。操作モードのコード：

- **8023** スタンバイ（有効）
- **8024** スタンバイ（無効）

5.6. 分解とお手入れ

稼働状況にかかわらず、搾汁エリアは少なくとも 1 日 1 回お手入れを行ってください。

ザクロの場合は、カスが溜まりやすいため、40kg ごとに搾汁エリアのお手入れを行うことを推奨しております。

1. 分解とお手入れを行うには、電源を切る必要があります。そのためには、背面上部にある電源スイッチを切ってください。【図 01】（ジュースを搾っている最中に電源を切らないでください。STOP ボタンを押して動作が終わってから電源スイッチを切ってください。）
2. 電源プラグ【図 02】を抜きます。
3. カスウケやカスガイドを取り外し、貯まったカスを空にして洗浄します。【図 03】
4. ドリップトレイと格子板を取り外します。【図 04】
5. フロントカバーを上に向けて取り外します。【図 05】表面に傷つけないように、食器洗浄機に入れないことを推奨しております。
6. 安全のため、分解とお手入れ作業を行う際に、カッター保護カバーを取り付けてください。【図 06】
7. トレイアダプタのナットを緩め、手前に引き出ししながら取り外します。【図 08】
次に：
 - a. 自動フィルター【図 09】を取り出して、ローラーとスクレーパーベルト【図 10】を取り外します。
 - b. PUSH ボタン内部を洗浄します。片方のツメ 2 つを押さえながら引くと、トレイアダプタから PUSH ボタンアダプタを取り外せます。【図 12】
 - c. 徹底的に洗浄するためには、さらに分解する必要があります。スプリングのガイド側を外し、真ん中の大きいツメ 2 つを両サイドから押さえながら引くと、ボタンサポーターを取り外せます。【図 13】
8. 搾汁ブロックを手前に引き出しながら取り外します。【図 14】カッターユニットを上げながら取り外します。
9. ボールのフックを外し、45 度回転させ、上に上げながら引き抜きます。【図 15】
10. カップのナットを緩めてカップを取り外します。【図 16】
11. これらの部品は食器洗浄機でも手でも洗浄できます。カッターユニットの洗浄時には十分に注意してください。カッターを洗浄し、乾燥させたらすぐに保護カバーを取り付けることを推奨しております。【図 06】
12. 最後に、洗剤か水を付けて布でマシンのフロントを洗浄します。

注意事項：

1402017A-1 ドリップトレイ、1405052A トレイアダプタシール（押しボタンアダプタに含まれる）、V0293B-1 GP ナットは、最高使用温度が 40℃ なので、熱湯や食器洗浄機で洗わないでください。熱による変形の場合は保証対象外となります。

不適切なお手入れによる損傷の場合は保証対象外となります。

組み立て

※組み付けの際には、必ずカッターに保護カバーを取り付けて作業してください

部品を洗浄し、乾燥させた後、以下の手順で部品を組み付けます。

- 1 カップをシャフトに取り付け、ナットを確実に締めます。[図 16]
- 2 搾汁トレイにボールを取り付けます。フックが正しく引っかかっていることを確認します。[図 15]
- 3 カッターユニットを搾汁トレイの上に載せます。[図 14]
- 4 トレイアダプタの組付け：
 - a. 押しボタンをボタンサポーターにフックが引っかかるまで押し込みます。スプリングをガイドにはめます。[図 13]
 - b. 組み付けられたボタンアダプタをフィルタトレイに取り付けます。[図 12]
- 5 ローラーにスクレーパーベルト（リブのある方が裏側に）をはめてし、フィルターに取り付けます。[図 10]
- 6 楔型ブロックをフィルターの両サイドにはめます。スクレーパーベルトの中に入っていることを確認します。[図 11]
- 7 自動フィルターユニットをトレイアダプタまたはサービスタンク（サービスタンク仕様）に取り付けます。[図 09]
- 8 トレイアダプタまたはサービスタンクを搾汁トレイのガイドに合わせて、奥まで押して取り付けます。[図 07]
- 9 トレイアダプタにナットを確実に締めます。[図 08]
- 10 カッター保護カバーを外します。[図 06]
- 11 フロントカバーを取り付けます。[図 05]
- 12 ドリップトレイと格子板を取り付けます。[図 04]
- 13 カスウケかカスガイドを取り付けます。[図 03]

注意事項：

- カップとボールはサイズごとに色分けしているため、サイズが間違っていないか目視で確認できます。
- すべてのナットが確実に締められ、しっかりと固定されていることを確認します。
- ボールが搾汁トレイにしっかりとはめ込まれ、フックが引っかかっていること、ボールがカッターユニットの枠にはまっていることを確認します。
- トレイアダプタが搾汁トレイのガイドに合わせられていること、正しいナットで固定されていることを確認します。

カッターユニット、トレイ、ボール、カップ、フロントカバーが上記の手順通りに組み付けられていない場合、部品やマシン内部が破損するおそれがあります。誤操作による破損や故障は保証の対象外となります。

ホッパーの分解とお手入れ

- セパレーターのナットを緩めます。[図 17]
- セパレーターを持ちながら取り外します。[図 18]
- インナーバスケットを持ちながら取り外します。[図 19]
- カゴを持ちながら取り外します。[図 20]
- すべての部品を水と洗剤できれいに洗います。また、食器洗浄機にも対応しております。
- 中性洗剤と水を含ませたタオルで天井カバーを拭きます。[図 21]

組付け時は上記と逆の手順で行ってください。

注意事項：

マシンの使用により、ジュースとの接触によってプラスチック部品が変色することがあります。これは衛生上の問題ではなく、プラスチックの物理的特性にも影響を与えません。

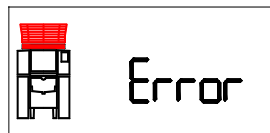
5.7. 使用上のご注意

- 果物のサイズに合った搾汁キットを使用してください。そうすることによって、最高のパフォーマンスが得られ、マシンの故障率も低減します。（例えば、小さすぎるキットを使用すると、詰まり、供給の不具合、イレギュラーなカット、果皮からのオイルの抽出につながる可能性があります）
*搾汁キットは、カップ、ボール、セパレーターで構成されています。小玉キットの場合、インナーホッパーと漏斗の追加が必要です。
- 果物の皮の厚さによって、ボール*の下にあるワッシャーで絞るストロークを調整することができます。
果皮が極端に薄い果物の場合は、ボールにワッシャーを加えることができます。
果皮が非常に厚い果物の場合、マシンの詰まりを防ぐために、ボールからワッシャーを取り外してください。
*ネジ式ボール専用です。フック付きボールには使用できません。
- 果物をカゴに入れる際は、カゴに荷重をかけないでください。カゴの破損につながるおそれがあります。
- ザクロを絞る場合には、ザクロの花を取り除くことを推奨しております。
- 業務終了後には、マシンの電源スイッチを切ってください。[図 1]

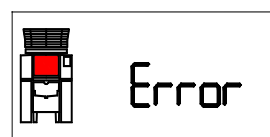
5.8. 安全装置と警告表示

マシンには安全装置が搭載されています。

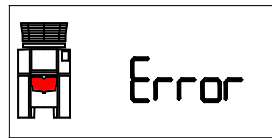
1. カゴが正しくセットされていない場合、マシンは動作せず、パネルに「Error」と表示され、カゴマークが点滅します。



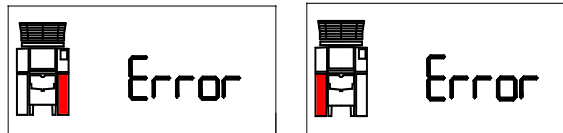
2. フロントカバーが正しくセットされていない場合、マシンは動作せず、パネルに「Error」と表示され、フロントカバーマークが点滅します。



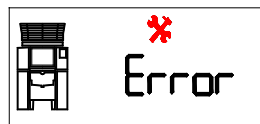
3. トレイアダプタ／サービスタンクが正しくセットされていない場合、マシンは動作せず、パネルに「Error」と表示され、トレイアダプタマークが点滅します。



4. カスウケ/カスガイドが正しくセットされていない場合、マシンは動作せず、パネルに「Error」と表示され、カスウケ/カスガイドマークが点滅します。



5. 重大損傷防止のため、運転中にマシンがモーターを停止させる場合があります。その時、パネルに工具のアイコンとともに「Error」が表示され、不具合の原因が取り除かれるまで待機します。



6. マシンにはモーターの過熱を防止するため、保護システムが装備されています。オーバーヒートした場合にはマシンが停止し、パネルに「Error」と表示すると共に、温度計または工具のアイコン（機種によります）が表示されます。この場合、温度が下がり、パネルが通常の状態を示すまで約 10 分間待ってください。また、背板の格子が塞がれていないことを確認してください。



7. 本機のパネルに何も表示されない場合は、電源が供給されていない可能性があります。電源スイッチが入っていることと、ヒューズが切れていないことを確認してください。

6. メンテナンスマニュアル

- マシンは必ずアースを付けます。人体への感電やマシンの損傷を防ぐためです。
- 電源プラグにアクセスしやすいよう設置してください。延長コードとアダプターの使用、他のマシンとコンセントの共用は禁止されています。

6.1. 設置

- 警告!マシンの重量は 58kg です。移動させる際は、2 人で持ち上げることを推奨しております。最適な持ち方は、片手で後部の底を支え、もう片方の手で搾汁トレイに持つことです。[図 25]
- マシンは、十分に安定した台の上に設置してください。設置後に M8 のボルトで脚を取付けます。
- 高さ 780mm 以上の平らな場所に設置してください。それより低いところに設置される場合は、ホッパー用の蓋を取付けてください。「蓋はオプションです」
- マシンは必ずアースを付けます。人体への感電やマシンの損傷を防ぐためです。
- 電源プラグにアクセスしやすいよう設置してください。延長コードとアダプターの使用、他のマシンとコンセントの共用は禁止されています。
- マシンの電圧と電源周波数が電気仕様と一致していることを確認してください。銘板をご参照ください。[図 26]
- アース付きの電源プラグにケーブルを接続してください。他の機器と電源プラグを共有しないでください。ヒューズ仕様は 0.03A です。
- 最初に使用する前に、ジュースシステムのすべての部品を洗浄してください。（カップ、搾汁トレイ、ボール、カッターユニット、トレイアダプタ/サービスタンク、自動フィルターセット、及びフロントカバー）また、ホッパーも洗浄してください。

6.2. メンテナンス

外部部品のメンテナンスについては、少なくとも一日一回は、「5.6 分解とお手入れ」通りにお手入れを行う必要があります。

内部部品のメンテナンスについては、ガイドなど可動部の潤滑と、徹底的なお手入れが必要です（年 1 回点検プラン用意あり）。

お手入れマニュアルは、こちらの QR コードをご使用ください

電子マニュアル



動画



6.3. トラブルシューティング

故障内容	原因・対策
電源が立ち上がらない	電力供給していない。 ヒューズが切れている。 電源ケーブルが正しく接続されていない。 電源スイッチがオフになっている。
パネルに「Error」と表示される	フロントカバーが正しく設置されていない。 トレイが正しく設置されていない。 カスウケ／カスガイドが正しく設置されていない。 カゴが正しく設置されていない。 モーターの過熱。 電子基板の故障。
パネルに工具のアイコンの点滅とともに「Error」と表示される	使用中に運転が止まる： - カッターや搾汁トレイに果皮が重なっていたり、カップに張り付いていたりしないか確認してください。 - 果物が凍っていないか確認してください。 - ボールが確実に固定されていることを確認してください。 - 搾汁キットの混在はないか、果物のサイズに合っていることを確認してください。 - 果皮が非常に厚い場合（例：ザクロなど）、ボールの下のワッシャーを取り外してください。
使用中に運転が止まる	運転が止まる原因を前の項目で確認してください。 マシンを復旧させるには、機器本体の底部にある 5mm の六角レンチを使用してください。 マシンの電源を切り、本体の側面のマニュアルホールにレンチを挿入し、カップをサイクルの開始位置まで反時計回りに回してください。これでマシンが復旧します。警告：マシンのスイッチを入れ直し、運転を開始させる前に、必ず復旧用の六角レンチをマニュアルホールから取り外し、元の場所に戻してください。
パネルに「Closed Tap」と表示される	マシンがコード 1002 マニュアルモードで設定されているため、レバーで PUSH ボタンを開いた状態にされていることを確認してください。
カッターの破損	カップのナットが確実に締め付けられていない。 ボールがしっかりと締まっていないか、搾汁トレイに引っかかっているか。 カッターユニットがボールに乗っていない。
自動フィルターが動作しない	駆動軸が前面にある六角形の作動部と接続されるように、自動フィルターシステムが正しく取り付けられていることを確認してください。 スクレーパーベルトの回転を妨げるような果皮のカスなどの大きな残留物が無いことを確認してください。
果物が十分に絞られていない	果皮の厚さを確認してください。非常に薄い場合は、ボールの下にワッシャーが取り付けられていることを確認してください。
果物がカゴから落ちない	セパレーターが果物のサイズに合わず、果物が漏斗から通れないかを確認してください。
複数の果物が同時にカップに落ちる	セパレーターが正しく取り付けられており、適切な搾汁キットが使われているかを確認してください。（S キットの場合、インナーバスケットと S サイズ漏斗が取り付けられていることを確認してください） セパレーターが果物のサイズに合わず、漏斗が大きすぎないかを確認してください。外側カゴが正しく取り付けられていることを確認してください。
お問い合わせや部品のご注文の際には、マシンの機種とシリアルナンバーをお知らせください。 [図 26].	

6.4. パーツリスト

210516C	フィルター駆動ローラー	I-7985-M4X8	ステンレスボルト M4X8 DIN-7985
210517B	フィルター従動ローラー	I-9021-M6	ステンレス平座金 M6 DIN-9021
210549A-1	セルフサービストレイナット Z40 GP	I-934-M6	ステンレス六角ナット M6 DIN-934
210557B-3	フック付き中玉ボール OR	V0070	六角レンチ 5MM
1405068A-8	フック付き小玉ボール Z14	V0133	ボール追加ワッシャー
210571A-12	フック付き大玉ボール GT	V0193	カッター保護カバー
210810	ドリップトレイ	V0275	サポーター脚 Z14
210814	ナット M20	V0293B-1	ナット GP
1402003BR-5	フロントカバー Z14 スモーク		
1402017A-1	セルフサービスドリップトレイ Z14 GP		
1402018A	セルフサービスドリップ格子板 Z14		
1402020A-1	穴付きドリップトレイ Z14 GP		
1402021A-1	穴付きドリップトレイセット Z14 GP		
1403005BR	セパレーター 55-75		
1403006BR	セパレーター 70-90		
1409026	セパレーター 45-62		
1403016A-1	インナーホッパーセット Z14 GP		
1409025A-1	機械式インナーホッパーセット Z14GP		
1403024B-1	ホッパーセット 9KG Z14 GP		
1403026B-1	ホッパーセット 16KG Z14 GP		
1405005BR-1	搾汁トレイ Z14 GP		
1405006A-12	大玉カップ Z14 GT		
1405008A-3	中玉カップ Z14 OR		
1405010	小玉カップ Z14 WG		
1405021C-1	カッターユニット Z14 GP		
1409029A-1	インナーホッパー Z14 GP		
1409030A-1	漏斗 45-62 GP		
1405026A-0	フィルタースクレーパーベルト Z14		
1405027B-1	フィルター Z14 GP		
1405029C-1	トレイアダプタ Z14 GP		
1405039A	左楔型ブロック Z14		
1405040A	右楔型ブロック Z14		
1405055A-1	トレイアダプタセット Z14 GP		
1405056A-1	PUSH ボタンセット Z14 GP		
1405058	ペットボトルアダプタ Z14		
1406006D	CPU パネル Z14		
1408002A-1	カスウケベース Z14 GP		
1408003A-1	ドリップトレイ Z14 GP		
1408004A-1	ドリップ格子板 Z14 GP		
1408006-1-18	Z06 及び Z14 ゲージ		
1408023	シリコンシール		
1408034A-1	左カスウケ Z14 GP		
1408034A-2	左カスウケ Z14 BR		
1408034A-3	左カスウケ Z14 OR		
1408034A-4	左カスウケ Z14 BE		
1408036A-1	右カスウケ Z14 GP		
1408036A-2	右カスウケ Z14 BR		
1408036A-3	右カスウケ Z14 OR		
1408036A-4	右カスウケ Z14 BE		
1408039	左カスウケセット Z14 ステンレス		
1408041	右カスウケセット Z14 ステンレス		
1409014A	左カスガイドセット Z14		
1409016A	右カスガイドセット Z14		
1605005	排水管		

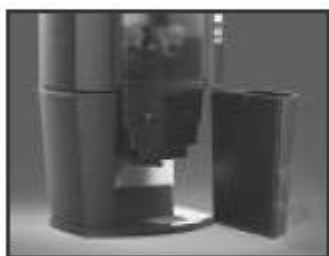
7. 写真



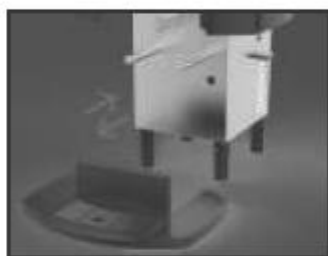
1



2



3



4



5



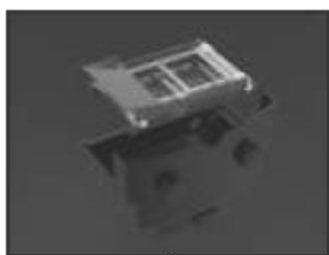
6



7



8



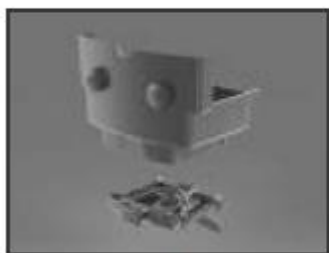
9



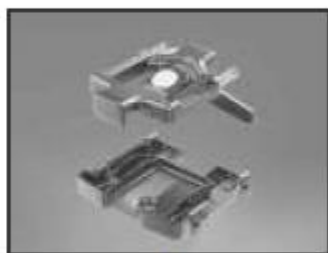
10



11



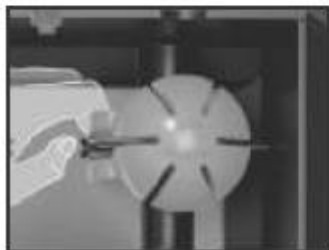
12



13



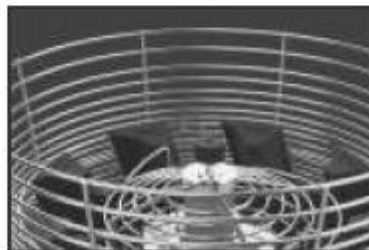
14



15



16



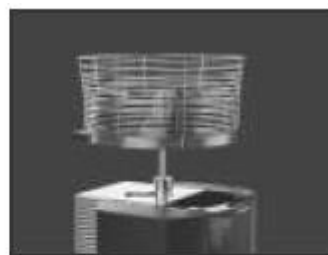
17



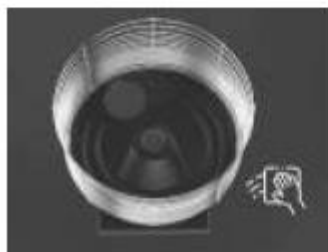
18



19



20



21



22



23



24

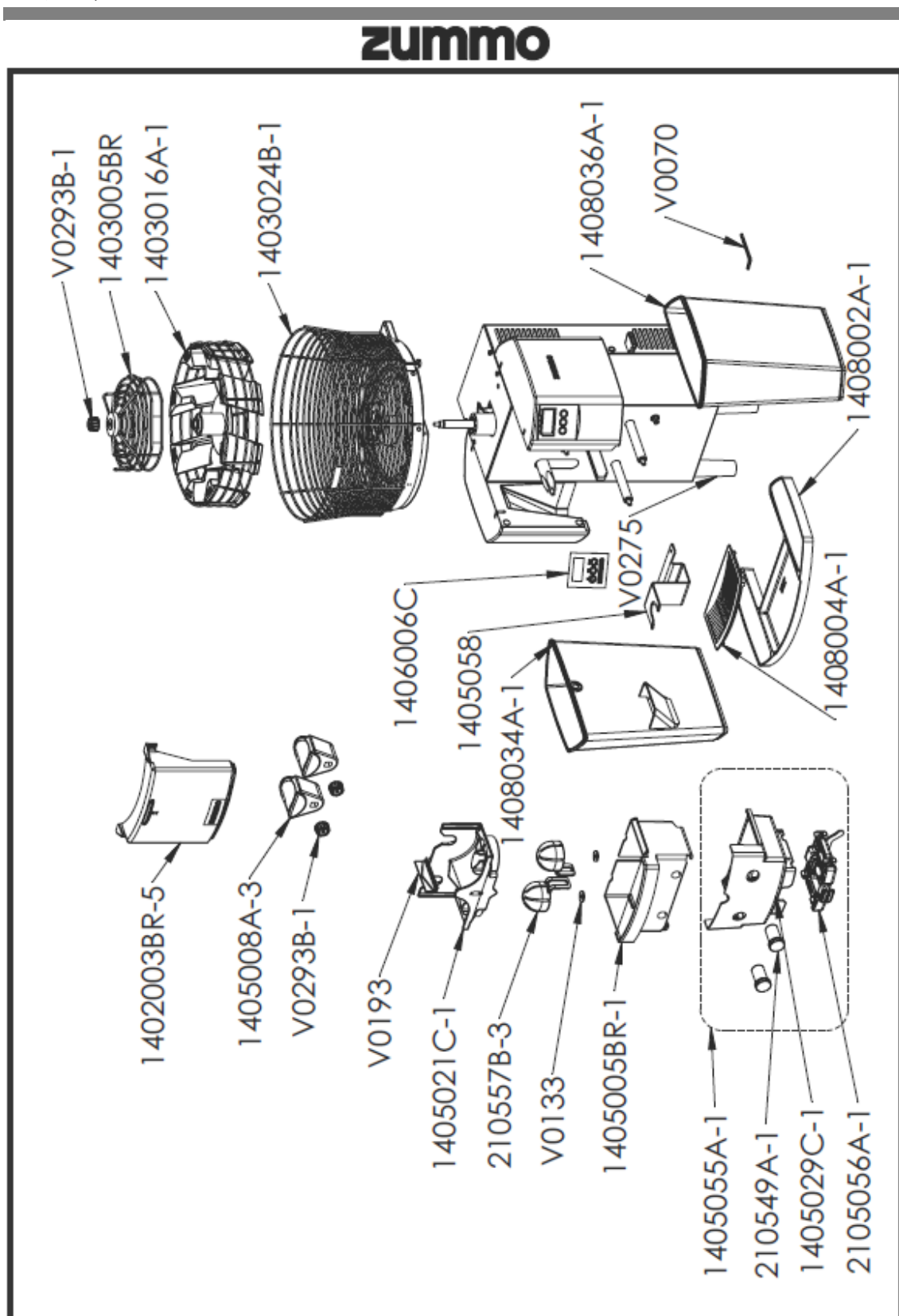


25

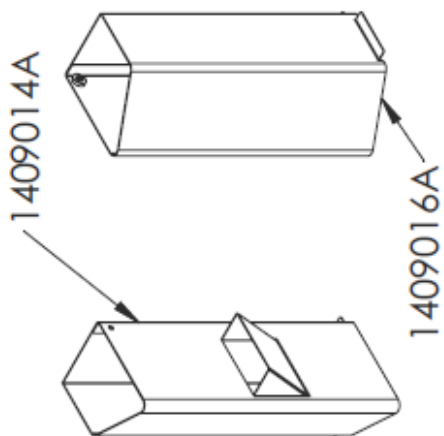


26

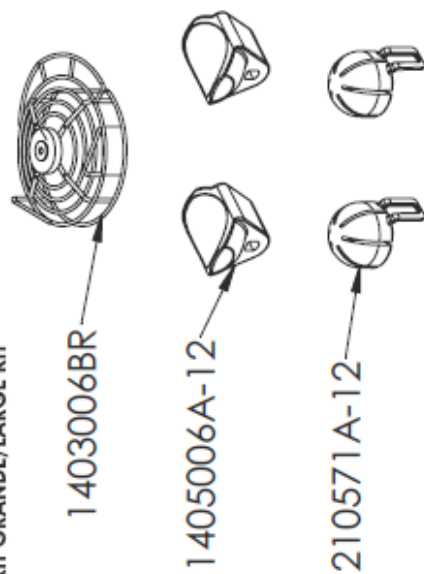
8. 分解図



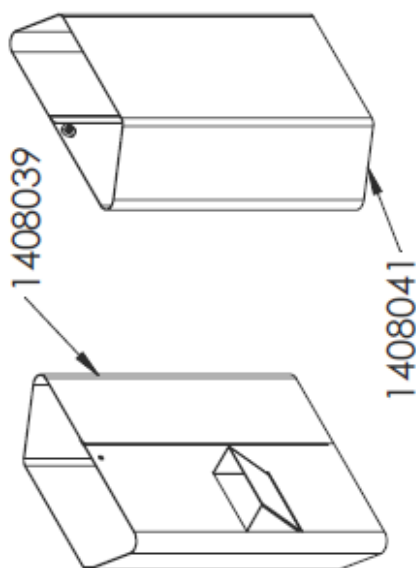
MANGA COMPLETA Z14 NATURE/Z14 NATURE COMPLETE CHUTE



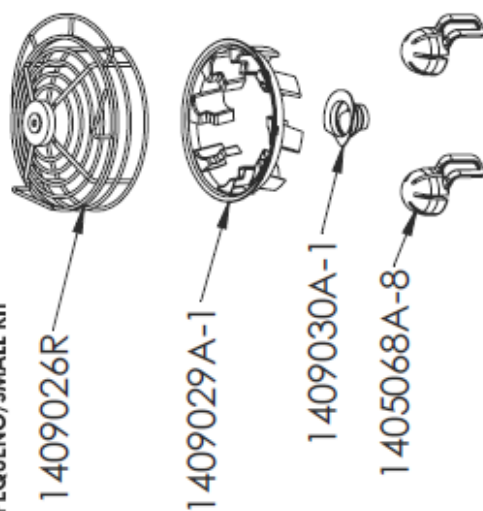
KIT GRANDE/LARGE KIT



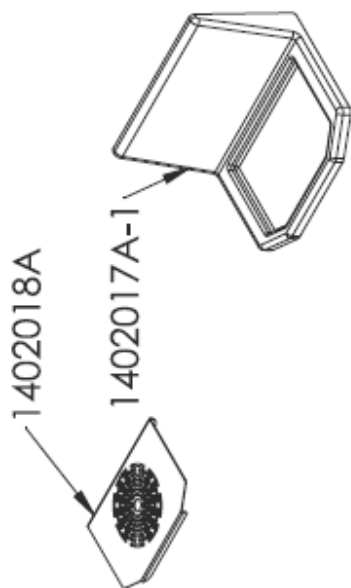
CUBETA COMPLETA Z14 NATURE INOX/ Z14 NATURE INOX COMPLETE CONTAINER



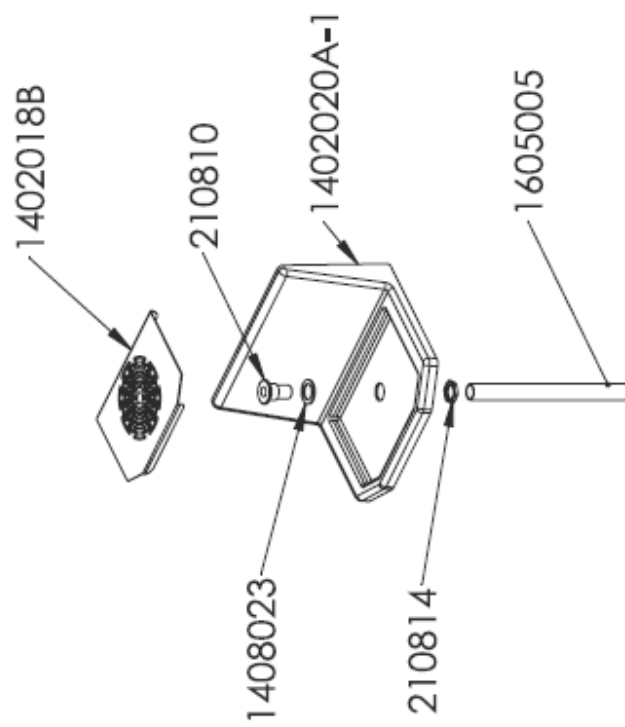
KIT PEQUEÑO/SMALL KIT



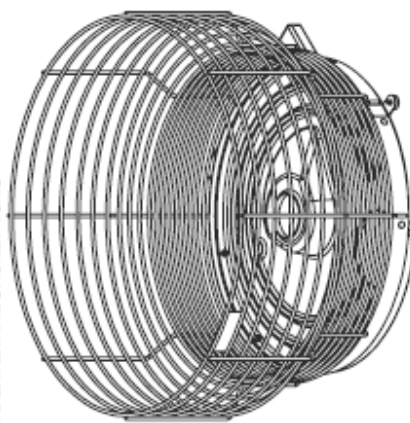
ACCESORIOS



1402021A-1 BANDEJA GOTEÓ Z14/ Z14 DRIP TRAY WITH DRAINPIPE



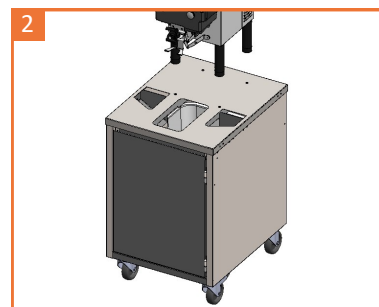
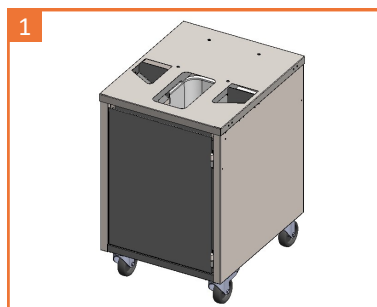
1403026B-1 CESTA EXTERIOR COMPLETA 16KG Z14 GP/
Z14 GP COMPLETE EXTERNAL BASKET 16KG



INSTRUCCIONES / INSTRUCTIONS

MONTAJE DE Z14 NATURE SOBRE MUEBLE / Z14 NATURE ASSEMBLY OVER CABINET

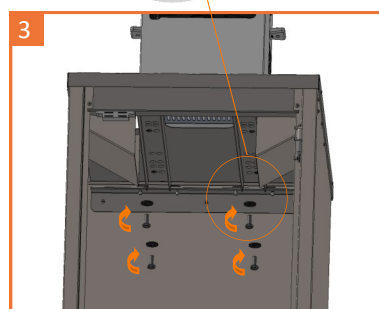
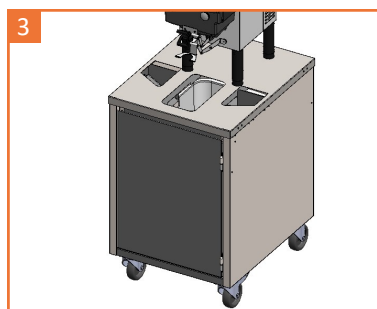
- 1 Posicione el mueble.
Place the cabinet.



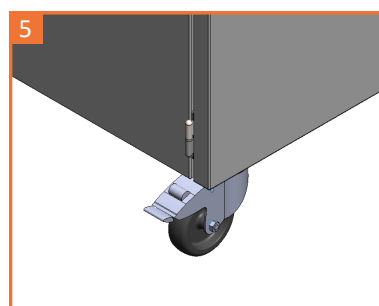
- 2 Centre la máquina.
Align the machine.



- 3 Abra la puerta y atornille la máquina al mueble.
Open the door and screw the machine to the cabinet.



- 4 Coloque las mangas, la cubeta y la rejilla.
Place the chutes, the bin and the grid cover.



- 5 Frene las ruedas.
Lock the wheels.